

2023年3月1日（水）～3月31日（金）

紀伊國屋書店新宿本店3階アカデミック・ラウンジにて



# 有斐閣の“今”を伝えるフェア ～著者からの一言を添えて～

## 開催中!!

有斐閣は『六法全書』や『ポケット六法』をはじめとする法律書の刊行点数が多いのですが、政治、経済・経営、人文・社会分野の書籍もたくさん刊行しています。今回のフェアでは、近時、一般書店やネット書店でよく売れている「売行良好書」をご紹介します。難しいことも、できるだけ多くの方にわかりやすく伝えたい……。そんな著者の「熱い想い」を「一言」にして、帯に入れ込みました。

著者からの一言が入った**帯付き本はフェア限定**です。この機会にぜひ、お手にとってお気に入りの1冊を、見つけてください。



著者からの一言が、学問との新たな出会いに……

法令用語研究会 編

# 有斐閣 法律用語辞典

第5版

辞典編集担当者からの一言

例えば「その他」と「その他の」、「してはならない」と「することができない」、「武器の使用」と「武力の行使」はそれぞれ何が違うのでしょうか？ 一般の国語辞典には載っていない、そんな法令特有の言葉が引ける辞典です。

有斐閣の“今”を伝えるフェア

ここからはじめる 国際法

事例から考える国際社会と日本の関わり

Introduction to International Law  
Focusing on Japan  
and International Society

佐藤義明・石垣友明  
小林友彦・坂巻静佳

4名の著者からの一言

毎日ニュースになっている国際問題について、国際法という視点から考えてみませんか？ 本書は戦争・宇宙・経済・環境・人権などなど、最新の事例から国際法の生きた姿を考える上で役立つ一冊と自負しています。

有斐閣の“今”を伝えるフェア

法学を学ぶのはなぜ？

森田果 KUMITA

気づいたら法学部にならないうための法学入門

森田果先生からの一言

今こそ全ての日本国民に問います 法学を学ぶのはなぜ？

この本を読まずに、やれ法学部に行っておけばぶしが効くのだ、最近法学部人気は落ちているのだと知ったかぶりをする日本人のなんと多いことか。しかし、この本は知っています。

有斐閣の“今”を伝えるフェア

第2版

# 条文の読み方

執筆者の先生方からの一言

ルールが分かるとスポーツ観戦が2倍楽しくなるように、「条文の読み方」(ルール)が分かると法律の勉強が何倍も楽しくなります。成績UP間違いなし！ 知ると知らないのでは大違い、今が知りキです！

有斐閣の“今”を伝えるフェア

まだ、法学を知らない？

未来をひらく13講

東京大学 現代と法

執筆者の先生方からの一言

東京大学法学部の教員のうち13名が、15～20ページずつ、自分の取り組んでいる課題を説明します。法学部では何を学び、社会とどう接するのか。条文や判例を読むだけではない真の姿を知りきかけに。

有斐閣の“今”を伝えるフェア

キャリアデザインのための 企業法務

松尾剛行 著

松尾剛行先生からの一言

企業の法務部門がどのような仕事をしているのかを、学生の皆様、社会人の皆様、そして若手弁護士の皆様に向けて紹介したのが本書です。本書を皆様の今後のキャリアの発展に活かして頂ければ幸いです。

有斐閣の“今”を伝えるフェア

実務基礎と和解の

増田善久 古谷恭一郎 著

古谷恭一郎先生からの一言

この一冊で和解の達人に…なれるほど和解は甘くはありません。時にほろ苦い思いすらすることもある和解です。相当に技術的な、同時に人間味満載の和解の世界を、現役の弁護士と裁判官がそれぞれの思い入れを込めて書きました。

有斐閣の“今”を伝えるフェア

法学教室 LIBRARY

Key Points of Criminal Law General Part

橋爪 隆

刑法総論の悩みどころ

橋爪 隆先生からの一言

「刑法の悩みどころ」シリーズでは、刑法の難解な論点について、議論のレベルは保ったまま、問題解決への道筋を平易に示すことを目指しました。高い壁を越えたときの爽快感をぜひ実感して下さい。

有斐閣の“今”を伝えるフェア

法学教室 LIBRARY

Key Points of Criminal Law Specific Offenses

橋爪 隆

刑法各論の悩みどころ

橋爪 隆先生からの一言

「刑法の悩みどころ」シリーズでは、刑法の難解な論点について、議論のレベルは保ったまま、問題解決への道筋を平易に示すことを目指しました。高い壁を越えたときの爽快感をぜひ実感して下さい。

有斐閣の“今”を伝えるフェア



長谷部由起子先生からの一言

基本的な判例を素材として、重要な原則や概念を丁寧に解説。判例を読み解きながら、民事訴訟法理論の基礎から応用までを1冊で学べます。

初学者はもちろん、ひととおりで学んだ方の復習のためにもお薦めのテキスト。

有斐閣の“今”を伝えるフェア



山本敬三先生からの一言

法律の本って、「こうだからこうだ」と書いてあっても、なぜこうだからこうなのか、よくわからないことが多いですね。

この本は、なぜこうだからこうなのか、そのつなぎ目をていねいに説明しています。感動しますよ(たぶん)。

有斐閣の“今”を伝えるフェア



池田公博先生 & 笹倉宏紀先生からの一言

世の中には刑事司法に関するニュースやエンタメ作品があふれています。でも、それらに接してふと疑問を感じることはないですか？

もしそうならば、本書を手にして、刑事司法の仕組みやそこで働くプロの思考の一端に触れてみてください。刑事司法という制度を営み、税金を払ってその運用を支え、その恩恵を受けているのは、国民=あなた自身なのです。

有斐閣の“今”を伝えるフェア



著者の先生方からの一言

「文章はコンパクトに、でも大事なポイントは外さずに」  
— そのような思いを込めて

私たちは本書を世に送り出しました。ぜひ本書を手にとりいただき消費者法の大きな世界へ、まずは「一歩」足を踏み入れてみてください。

有斐閣の“今”を伝えるフェア

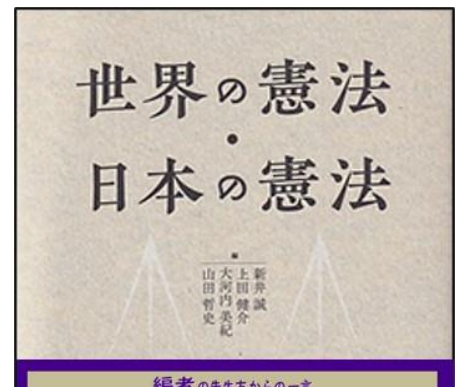


荒井 健先生からの一言

幸いにも「行政救済法」の柱は行政事件訴訟法と国家賠償法の2つ、53か条。

それにしては薄くはない本ですが、この本は類書より楽しく読めると言っていたら本望です。

有斐閣の“今”を伝えるフェア



編者の先生方からの一言

憲法への関心が高まるなかで、日本のことを少し知ると「世界各国ではどうなの？」と興味を持つことはないでしょうか。

本書はこうした思いに応える一冊となっています。日本と比較しながら世界における憲法の今を感じ取ってみませんか。

有斐閣の“今”を伝えるフェア

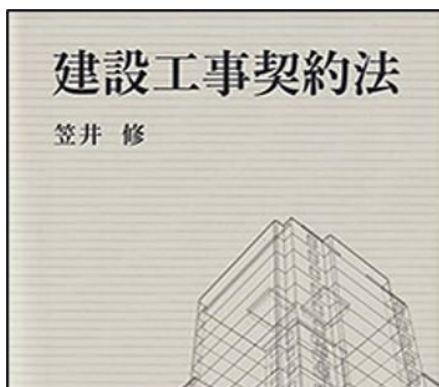


大橋洋一先生からの一言

行政法学界の次世代を担う研究者が集結して、災害法分野の開拓に挑戦しました。実務家の指針となることを目標に、具体のリーガルスキーム解明に力を尽くした次第です。

時代の要請に応え、行政諸領域を切り開く転機となれば幸いです。

有斐閣の“今”を伝えるフェア

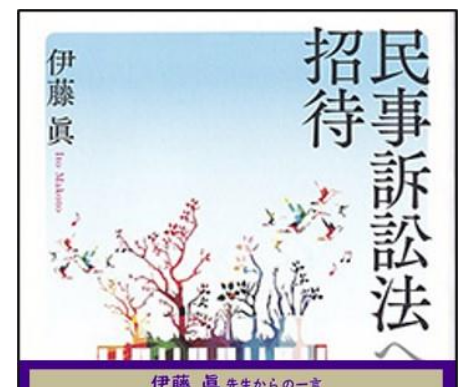


荒井 健先生からの一言

建設工事の請負契約をめぐる、民法・建設業法・その他の関連法・判例・約款・行政通知の全体像を体系的に説明しつつ、あわせて実務の発展に理論的基盤を提供することを目指して執筆しました。

法改正、約款改訂など変化の激しいこの分野の現状把握に寄与することを願っております。

有斐閣の“今”を伝えるフェア



伊藤 眞先生からの一言

民事訴訟法(ミンソ)むずかしくありません！  
step by step 一歩一歩、踏みしめて、登っていけばいいのです。

フオアがつくと、得意科目になっているでしょう。この言葉、70歳を過ぎてピアノを始めた著者より、


自信をもってお贈ります。

有斐閣の“今”を伝えるフェア

**労働法** 9

LABOR AND EMPLOYMENT LAW

水町 勇一郎



水町勇一郎先生からの一言

深夜に寂しく法律の勉強をしている皆さんの気持ちを少しでも和ませられればと、事例に隠れキャラを入れています(隠れきれてないかも)。事例4や事例8は初心者向けですが(たぶん)、事例31がわかれば達人です。労働法の能力とは全く関係ありません。


有斐閣の“今”を伝えるフェア

**労働法**

Labor and Employment Law

第5版

荒木尚志  
ARAKI Takashi



荒木尚志先生からの一言

変容する雇用システム、労働法制、労働判例の今を、体系的にわかりやすく伝えたいと精魂込めて執筆しました。新項目を起こして解説した事項も多数。体系書としては異例ながら最終章では将来の労働政策も展望しています。

有斐閣の“今”を伝えるフェア

〈政治〉

因果推論  
and Political Analysis

久米郁男 著

**原因を推論する**

政治分析方法論のすすめ

久米郁男先生からの一言

エビデンスに基づいた主張の必要性が強調され、因果関係を推論する高度な統計手法も次々と紹介される一方、一般メディアやSNSにおいては根拠の定かでない主張を目にする事も多い。本書は、原因を推論する作法を基本に立ち返って説明する。

有斐閣の“今”を伝えるフェア



**憲法からよむ  
政治思想史**

高山裕二先生からの一言

本書は大学の講義から生まれました。日本国憲法の条文から話し始めることで、今の日本で政治思想を学ぶ意義があることを感じてもらえるように書きました。政治や社会の未来を考える糸口にしていただけたら嬉しいです。

有斐閣の“今”を伝えるフェア



忽那憲治先生からの一言

アントレプレナーシップ教育は一部の人に必要な「専門科目」ではなく、より良く生きるための「一般教養」です。アントレプレナーシップを身につけておくことは、自分の人生を自分で切り拓いていくために有効です。

有斐閣の“今”を伝えるフェア



青島矢一先生からの一言

プラットフォーム研究の第一人者たちが、学術研究の蓄積に基づき、Google, Amazon, Apple など世界経済を支配するプラットフォーム企業の強さを生むメカニズムと潜在的な脆弱性を実務家にとっても役立つようにまとめ上げたものです。

有斐閣の“今”を伝えるフェア



佐々木勝先生が語る『経済学者が語るスポーツの力』著者

佐々木 勝先生からの一言  
スポーツと経済学?!

どうせオリパラやW杯の経済効果の話でしょ。いえいえそれだけではありません。スポーツを「する/みる/ささえる」があなただけでなく、社会全体を幸せにする——このメカニズムを経済学の知識とデータを使って解明します!

有斐閣の“今”を伝えるフェア



鷺田祐一先生からの一言

デザインとは何か？  
デザイン思考とは何か？  
デザイン経営とは何か？  
創造性人材とは何か？  
なぜ今、それが重要なのか？  
企画担当者は必見。

有斐閣の“今”を伝えるフェア



清水 洋先生からの一言

新しいビジネス機会を開拓している(したい！と思っている)方ぜひ手にとっていただきたい  
敷居は低く、奥は深い  
最先端の研究を分かりやすく届けます!

有斐閣の“今”を伝えるフェア



加藤雅俊先生からの一言

スタートアップに期待し過ぎちゃいけません！  
スタートアップを通じた経済活性化は簡単ではありません！  
どうしたら起業家が出てくるの？誰が成功するの？  
本書には「根拠に基づいたヒント」が隠されているはずですよ。

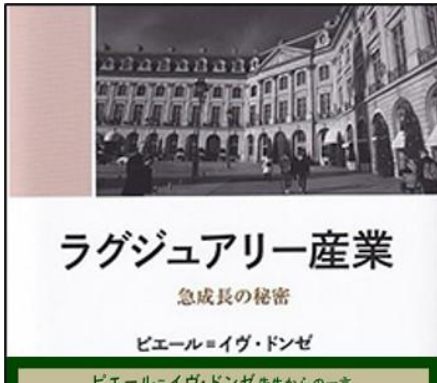
有斐閣の“今”を伝えるフェア



清水 洋先生からの一言

イノベーションには実はパターンがある  
ゲームの先を行き、  
ビジネスの可能性を引き出そう  
敷居は低く、奥は深い  
最先端の研究を分かりやすく届けます!

有斐閣の“今”を伝えるフェア



ビエール=イヴ・ドンゼ先生からの一言

日本市場と欧州ラグジュアリー企業には、長く深いかわりがあります。そうした歴史も含め、この産業の形成と発展を跡づけました。今の日本企業が学べる点も多いと思います。「ブランドもの」への興味にかかわらず、ぜひお読みください。

有斐閣の“今”を伝えるフェア



長尾雅信先生からの一言

多様性が地域に活力をもたらす。  
地域社会でその基盤をどう作り、育むのか。  
各地の取り組みを探究し、  
そのエッセンスを導き出しました。  
「新たな場所との関わり」、「地域をこえたつながり」を作ろうとする方々の傍らにある一冊になれば幸いです。

有斐閣の“今”を伝えるフェア

**観光経済学**  
理論とデータで学ぶ  
Tourism Economics  
山内弘隆・山本史門  
山崎茂雄・川口明子 編

編者からの一言

コロナ、戦争、物価高騰の問題が、次々と出現する現在。本書は、観光の経済・統計理論を展開し、パンデミック等の近年のビックも分析しています。先の見えない今こそ、観光の新たな局面を考える参考となるでしょう。

有斐閣の“今”を伝えるフェア

y-knot

現実からまなぶ  
**国際経済学**

伊藤萬里・田中鮎夢 著

田中鮎夢先生からの一言

「現実からまなぶ」のタイトルどおり、豊富な最新データと現実の実例に基づき、伝統的な理論から新々貿易理論や重力モデル、グローバル化と格差といった話題までカバーした、読んでいるだけでもおもしろい新しい国際経済学のテキストです。

有斐閣の“今”を伝えるフェア

新版

**データ分析をマスターする12のレッスン**

畑農鋭矢・水落正明(著)

畑農鋭矢先生 & 水落正明先生からの一言

データ分析の実践的スキルをマスターするため、大学のゼミ指導の経験をもとに書きました。基本の基本から始め、手を動かしながら12のレッスン(章)を読み終えると、実際に統計的分析ができるようになっているはずです。時間のない社会人の方にもおすすめです！

有斐閣の“今”を伝えるフェア

〈人文・社会〉

有 斐 閣

現代  
心理学辞典

子安増生先生からの一言

心理学辞典の決定版——学び、実践する人のために編集に4年余りを費やした、執筆者324人、3,967項目、1,002ページの心理学辞典です。ハンディな判型で古典的な用語から最新の術語、公認心理師用語までを小項目主義で記述した使いやすい辞典です。

有斐閣の“今”を伝えるフェア

北田 暁大

実況中継・社会学

北田暁大先生からの一言

丹精込めてごさえました。社会(学)とは何か、という難しすぎる問いの百歩前で正しく戸惑い、何をどうしたら社会学をしたことになるのと問わずにいられない、そんな若い人に読んでいただければ幸いです。もちろん、若くなくても大歓迎です。

有斐閣の“今”を伝えるフェア

新しい支援と社会のカタチ  
奥田知志・原田正樹(編)

**伴走型**

奥田知志先生からの一言

孤独や孤立に向けた処方箋。それが伴走型支援です。たとえ問題が解決しなくても「ひとりにしない社会」を創る。「つながり」に注目した新しい支援論。一緒に生きていくための一冊です。どうぞお読みください。

有斐閣の“今”を伝えるフェア

松沢裕作

近代日本  
社会史

松沢裕作先生からの一言

明治時代の社会の仕組みについての概説書。そんなものはあって当然だと思いませんか？ところが、そういう本はこの本より前にはなかったのです。必要なので自分で書いた、そんな本です。ぜひお手にとってご覧ください。

有斐閣の“今”を伝えるフェア

ポリティカル・コレクトネス  
からどこへ

清水晶子  
ハン・トンヒョン  
飯野由美子

著者3人を代表して、飯野先生より一言

ポリティカル・コレクトネスを単純に否定したり肯定したりするだけの議論は終わらせよう。政治的な「正しさ」や「望ましさ」をめぐる議論を、その行き先が予測できないものとして、あらためて考えなおしていきたい。

有斐閣の“今”を伝えるフェア

For Persistent Feminism: Survive Globalization and the Sexual Metamorphosis

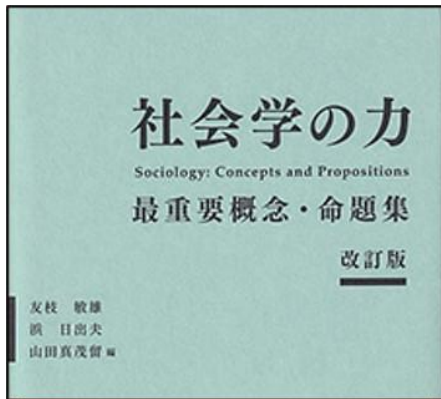
持続する  
フェミニズムのために  
グローバル化と「第二の近代」を生き抜く理論へ

江原由美子 著

江原由美子先生からの一言

本書は、流動化する現代社会において、ジェンダー平等の実現をめざすフェミニズムは成立可能なのか、仮に可能だとすればそれはどのようなフェミニズムであるべきかという問いに、答えようとしています。答えはまだ途中です。ご一緒に考えてみませんか？

有斐閣の“今”を伝えるフェア



友枝 敏雄  
眞 日出夫  
山田真茂 編

友枝敏雄 先生からの一言

この本を開いて、  
困難な状況に直面する世界と社会を読み解き、  
周りの人間関係を見直して、  
自分をバージョンアップしてみませんか。  
『社会学の力』は  
あなたの力になります！

有斐閣の“今”を伝えるフェア



大久保 遼 著

大久保 遼 先生からの一言

メディア論は机上の学問ではなく、  
実践や創造とのつながりが強い学問領域です。  
本書を通じて得た関心や発見を、  
今後の構想や企画、制作に結びつけて、  
皆さんの「これから」の設計につなげて  
いただければ幸いです。

有斐閣の“今”を伝えるフェア



廣中直行 著

廣中直行 先生からの一言

「人の心は難しいな、不思議だな」と思ったとき、  
心理学の世界をのぞいてみませんか？  
「答え」は簡単には  
見つからないかも知れません。  
でも、あなた自身が  
深く考えるためのヒントがあります。

有斐閣の“今”を伝えるフェア



相澤真一・伊佐夏実・内田良・徳永智子 著

相澤真一 先生からの一言

本書を手にとるすべての方にとって、  
学校や教育について抱いた疑問を  
一緒に考えるお手伝いができる本  
となりますように。

有斐閣の“今”を伝えるフェア

